



先日、中学高校時代の友人達と楽しい時間を過ごしました。

卒業して十何年。昇進する者、転職する者、一度社会人になるも夢を諦めきれず再び医学の門を叩いた者、結婚する者、それぞれの道を歩んでいますが、顔を合わすやいなやまるで学生時代にタイムスリップしたかの様な気分になりました。

(さすがに学生服を着る訳にはいきませんが…)

そこで自分の学生時代の思い出をいくつか書いてみたいと思います。

まずは学食です。自分は中高一貫の学校に通っていたのですが、学食の使用は中学三年生になってから、という決まりがありました。

中学二、三年生は使用出来ず、みんなお弁当を持参していました。その

ため、初めて学食に行った日は大変緊張したのを覚えています。いくら成長し、中学三年生になり、体も大きくなってきたと言っても、やはり十五歳と十八歳の高校三年生では、体つきも対応も何もかもが違っていたでしょう。また、『二年間、『いいな』『いつてみたいなあ』と思っていたので、しばらくの間は毎日何を食べようか、友人達と一緒に楽しく悩んでいた記憶があります。

次に思い出す事は、スキーです。

突然、なぜ?と思われる方もいるかと思いますが、学校の林間教室で初めてスキーを習ったのです。それまで、ウェアやスキーシューズを見た事も触った事もなかったため、大変でビックリの連続だったのを覚えています。

ゲレンデで銀世界を見ることも初めての経験で、『本当に白い!』『日差しがまぶしい』と景色に感動をしていました。が、次の瞬間、この靴でどうやって歩くんだ?と大きな不安を感じたのも事実でした。その後もリフトは怖いし、滑れないから転ぶ、止まれないから転ぶ、と2泊3日の中で鍛

えられた思い出があります。

他にも思い出はたくさんあるのですが、ページの関係でここまでにしておきます。

今となつては色々な思い出がありますが、当時は全く何も考えずに毎日をただ楽しく過ごしていただけの様な気がします。

自分が歯科医師になるにあたり、学業は厳しい物がありました。それを乗り越える事が出来たのもやはり友人達の支えがあったからだと思うのです。

これを読んでくださっている方も『時間があつたら会おう』と毎年年賀状に書いて、翌年を迎えてしまうことがありませんか?日々、時間に追われがちな毎日ですが、大切な友人に会える回数は思ったより少ない物なので、たまには連絡を取ってみてはいかがでしょうか?



藤崎歯科医院の

『個人情報保護法』

への対応について

当医院は受診される皆様の個人情報収集及び管理をさせて頂いております

歯科医院における個人情報とは、受診される方の氏名、住所、生年月日、電話番号、職業、健康保健情報、問診表、診療録、診療内容、エックス線写真などがあります。そのような個人情報を守り、安心して治療が受けられるよう努めます。

患者様とのコミュニケーションとして毎年、年賀状・デンタルニュースを発送しておりますが、希望されない場合は情報を削除いたしますので受付までご連絡ください